

伊吹美里

Misato Ibuki

あらし

はいとく

嵐は背徳にぬれる

秘め恋

ひ

こい



私は突然できたステキなお兄ちゃんに喜んだ

パパー

愛梨と5つ年がはなれてるよろしく頼むぞ

それでもお母さまの麗子さんに似てるかしら

男の子は母親に似るといふからねそれであなた

詩由梨!

今ここでその話はいいだろう

あら

ケンカになつたらやだな

あなたのほうが意識しすぎじゃなくて?

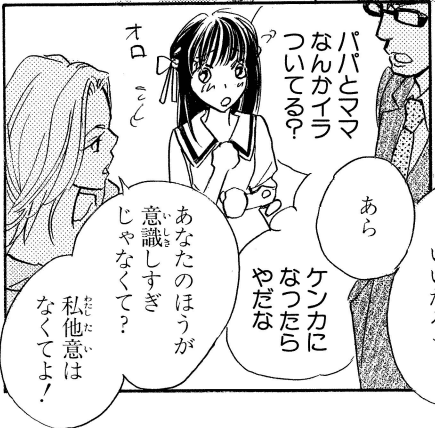
私他意はなくてよ!

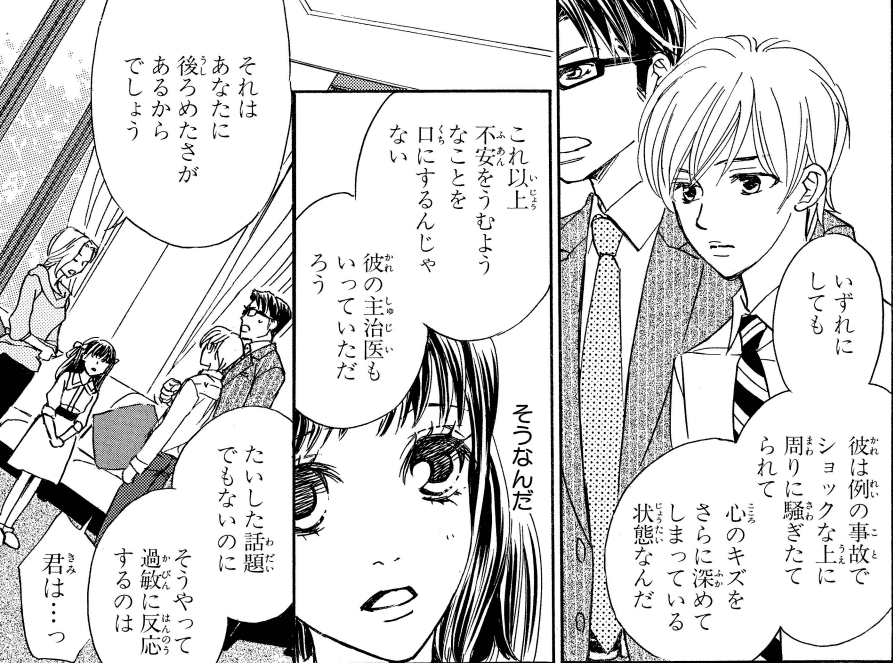
麗くん中学校の寮に入ってたからずいぶん久しぶりね

あれからだいぶ大きくなつて

オロ、

パパとママなんかイラついてる?





いずれにしても

彼は例の事故でシヨックな上に周りに騒ぎたてられて

心のキズをさらに深めてしまっている状態なんだ

そうなんだ

これ以上不安をうむようなことを口にするんじゃない

彼の主治医もいっていただろう

それはあなたに後ろめたさがあるからでしょう

たいした話題でもないのに

そうやって過敏に反応するのは

君は…っ



あのね

麗ちゃんのお部屋アイリが教えてあげる

これ以上ケンカがひどくならない内に

こっちはついてきて

きゃ!?



こっちはです

あの

私
いきなり
なれなれし
かったのかな

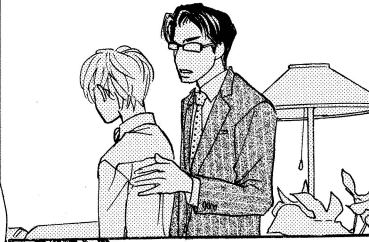
麗くん
愛梨に部屋へ
案内してもらい
なさい

か
あ
失敗した!



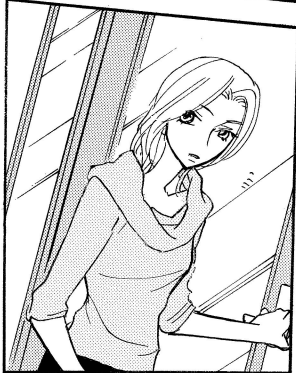
ホッ

ついてきて
くれた



これから?

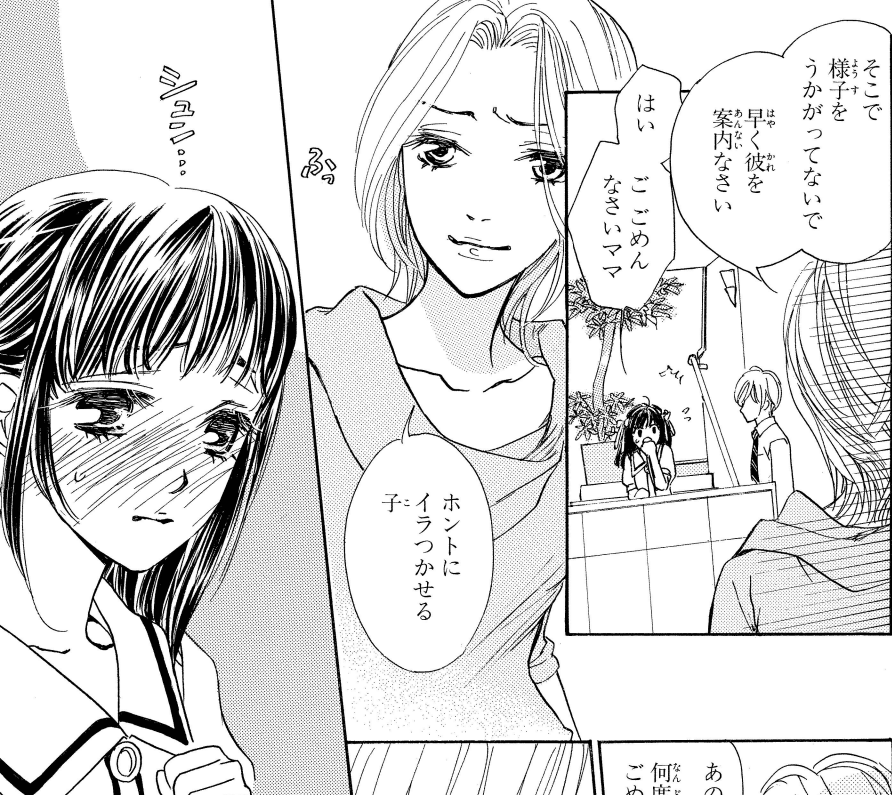
会社へ
いってくる



そう
わかったわ
いってらっしゃい



瑞池社長の
後処理が
残っている



私の家族はバラバラ

パパは社長になつてから
ますます家に
帰ることも
少なくなつた



ずっと前は

パパもママも
いっしょに笑っていたのに――

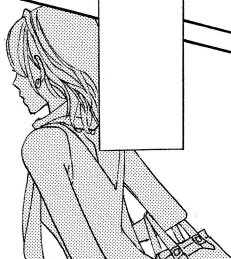


麗ちゃん アイリも
そっちに
いってもいい？



ママも ますます
自分の時間を
優先するから

私はひとりの
残された気分で
さみしかった



平々



ふっ..

麗ちゃんは
私にも
誰にでも

無関心だった



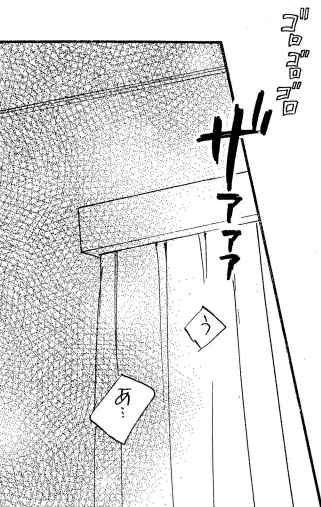


私には
それで
かまわなかった



嬉し
から

麗ちゃんの傍に
いれば
人のぬくもりを
感じて



私は勝手に
いやされた



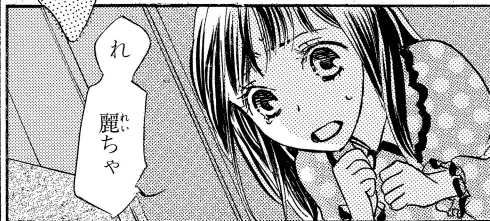
どうしたの
麗ちゃん…



う……っ
やだ…

ちが……う

父さ…



れ
麗ちゃ

目をあけて

母さん……
いかないで

ザッ



起きて
麗ちゃん



怖い

麗ちゃん

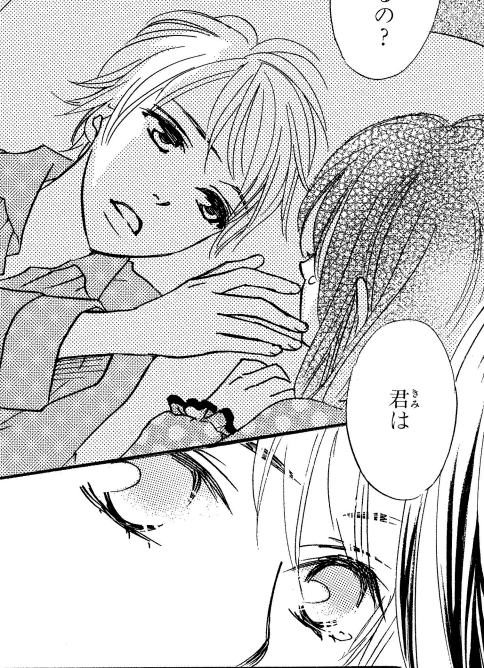
キヤあちあちっ
ガラガラ



と
ニヤ
ガ
ガラ



泣ないてるの？



君きみは

麗れいちゃんか
はじめて
私わたしに声こゑかけて
くれた……！



うっ

えっ

ザマザマ……
ゴッゴッ



カミナリ
怖おそいの？